

# 北海道乳牛改良委員会の概要

## 目指す姿

道内の酪農関係者が一体となって乳牛改良に取り組み、その成果を有効に活用し、本道酪農の発展を目指して取り組む体制

### 【現状(設立当初)】

飼養管理技術の改善や乳用牛の能力向上を目的として牛群検定・後代検定を一体的に実施

#### ○ 牛群検定

- ・ 加入戸数・割合(H20末現在) 5,138 戸 66.6%
- ・ 加入頭数・割合(H20末現在) 361,465 頭 75.1%

#### ○ 後代検定

- ・ 調整交配頭数(H21予定) 52,960頭(全国の約63.6%)
- ・ 娘牛生産頭数(H15後検) 10,357頭
- ・ 娘牛保留頭数(H15後検(予定)) 5,969頭(全国の約60.5%)

### 【課題】

本道酪農をめぐる情勢が変化する中、乳牛改良における各事業の位置づけの見直し、効率的・効果的な乳牛改良体制の構築が必要

#### ○ 牛群検定・後代検定の推進体制の強化

- ・ 牛群検定農家の拡大
- ・ 後代検定の負担に対する不公平感の解消
- ・ 輸入精液増加への対処

#### ○ 乳牛改良の基盤となる乳検組合の基盤強化

#### ○ 乳牛改良関係財源の安定的確保

## 北海道乳牛改良委員会の設置

### 【目的】

これまでの乳牛改良の基板を維持し、今後も乳牛改良の成果を本道酪農の発展に結びつけていくためには、本道酪農関係者一丸となって乳牛改良に取り組むことが重要。

このため、本道酪農関係者が情報を共有し、推進方針を決定した上で、全ての関係者が同じ目標に向かって協力して取り組む体制を構築する。

### 【構成】

#### ○ 委員会(各団体の代表者で構成)

北海道農協酪農畜産対策本部、地区乳牛検定組合連合会、ホクレン、北海道NOSAI、北海道酪畜協会、北海道酪農協会、北海道酪農検定検査協会、北海道家畜人工授精師協会、ジェネティクス北海道、北海道ホルスタイン農協、十勝家畜人工授精師所、サツラク農協、北農中央会、北海道農政部

#### ○ 事務局

北海道農政部畜産振興課、北農中央会酪農畜産課に事務局を置き、ホクレン、北海道酪農検定検査協会、北海道家畜人工授精師協会、ジェネティクス北海道、北海道ホルスタイン農協が協力して事務処理をする。

### 【取組内容】

#### ○ 乳牛改良への理解促進

#### ○ 乳牛改良推進体制の強化

乳検農家の拡大や後代検定に協力する農家の拡大・効率的な乳牛改良体制の構築

#### ○ 必要財源の確保